



学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。
展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、
ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER
6

仙台文学館

学芸室 三條 望さん



冬になりますと、次年度の展示の準備が本格化します。私がいま担当しているのは、仙台文学館初代館長で、劇作家・小説家として多くの作品を残した井上ひさしの展示です。膨大な量の直筆資料を、どのような切り口で紹介していけば、面白さが伝わるのか、頭を悩ませています。楽しいのは、プロットや人物表のような創作中の資料を読むことで、作者の頭をのぞき見することができる点ですね。元々まったく



どんな展示になるか
お楽しみに

これからの
イベント

2018年12月8日(土)～2019年3月31日(日)
企画展「資料が伝える物語 2013年以降の新収資料から」(II期)

SMMA
SENDAI MIYAGI MUSEUM ALLIANCE
仙台・宮城ミュージアムアライアンス

SMMAとは

知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

SMMA
イベント
情報

ミュージアムユニバース
すてき・ふしぎ・おもしろい
2018年12月14日(金)～16日(日)
せんだいメディアテーク 入場無料

WEBサイト 見験楽学

仙台・宮城ミュージアム情報局

SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならずはもちろん、旅行で訪れた方々にもおおいに役立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。 www.smma.jp

発行・問い合わせ先：仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内)
電話：022-713-4483 ファックス：022-713-4482 電子メール：office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト：https://www.smma.jp
編集／小原 瞳 デザイン／ANTWORKS イラスト／よしだみさこ 発行日／2018年11月21日 掲載した記事・情報は発行日の段階のものです。
この紙はリサイクルできます

2018冬号 句の見験楽学便

食にまつわるエトセトラ
あったか
ミュージアム鍋

仙台
ミュージアム
情報誌
SENDAI MUSEUM INFORMATION MAGAZINE
SHUN NO KEN KEN GAKU GAKU BIN



ミュージアム de ブレイクタイム



SPOT

東北大学史料館

東北大学の様々な資料を収集・保存・公開しています。大正期に設計された建物そのものが登録有形文化財として必見。かつて留学生として在学していた魯迅にまつわる常設展や、季節による企画展などの貴重な資料を無料で見学できます。「都市景観大賞」特別賞を受賞した片平キャンパス地区は、歴史的建造物が立ち並び、保存樹木や並木に恵まれた憩いの場でもあります。史料館から歩いてすぐ、東北大生協が運営するショップや食堂、レストランは一般客でも入店できますので、ぜひ散策を楽しんでみてください。



図 仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学片平キャンパス内
☎ 022-217-5040
図 10:00～17:00(最終入館16:30まで)
図 土曜・日曜・祝日・夏期休業日
年末年始
☑ 入館無料

さくらショップ

ホットケースに入った温かいお弁当やパンなどの食品から書籍、文具、モバイル通信機器まで幅広い品ぞろえが特徴。お菓子やビール、ワイン、カレーなど東北大学オリジナルの記念グッズや史料館のガイドブックも購入可能。小田和正作詞作曲の校友歌「緑の丘」のCDは実店舗ではここでしか購入できないアイテムです。



▲「川内第2食堂 普通カレー」378円
図 8:30～20:30
(土曜は11:00～14:00)
図 日曜



レストラン萩

落ち着いた雰囲気です食事が楽しめるレストランでは、パスタや宮城野ポークやみちのく鶏のグリルなどの肉料理を中心に提供。東北大学オリジナルのワインやビールを楽しむこともできます。ディナータイムには日本酒またはビール1杯に小鉢5品、ライス、サラダ、スープが付いた晩酌セット(1,700円)も。



▲「hagiナポリタン (サラダ・スープ付)」750円

さくらキッチン



ラーメンやうどんなどの麺類カレーや丼といったご飯ものはもちろん、サラダバーや選べる惣菜などをリーズナブルな価格で味わえます。季節の食材を取り入れ、栄養のバランスが考えられたメニューなので、毎日足を運んでも飽きることなく楽しめます。



▲「野菜たっぷり 総代カレー(中)」380円
図 8:00～20:00
(土曜は11:00～13:30)
図 日曜



図 11:00～14:00、17:00～21:00(土曜は予約制)
図 日曜



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。
人を知って、
収蔵品をもっと身近に、
もっと楽しく。

伊東 豊雄

(1941～)

東京大学工学部建築学科卒業後、菊竹清訓の事務所を経て1971年に独立。アーバンロボット(後に伊東豊雄建築設計事務所に改称)を設立。国内外の商業施設や公共建築を数多く手がけ、受賞歴も多数。近年の作品はパロック・インターナショナル・ミュージアム・プエブラ(メキシコ)、台中国家歌劇院(台湾)など。



世界を代表する建築家の「生きている建築」

2013年建築界のノーベル賞といわれるプリツカー建築賞を受賞し、名実ともに世界的な建築家として名を馳せる伊東豊雄さん。自身で「転機となった建築」と語るのが2001年に開館したせんだいメディアテーク(以下smt)です。6枚の薄い床を13本のチューブが支え、壁がほとんどない空間は動的。定禅寺通りのケヤキ並木を映す、ガラス張りの明るく開放的な空間で使う人たちが自由に活動できる環境づくりを実現しました。以降、これまで近代建築で重視されてきた機能性に固執せず、周囲の環境、自然との関係を大切に作品で人々を魅了し続けています。

震災復興から見えた一緒に作りあげていく建築のカタチ

開館前から交流のある smt スタッフは「建築界の重鎮でありながらも熱量が高く、後進育成に力を入れているので、スタッフの方々もとても丁寧な仕事ぶり」と話します。東日本大震災発災後は早い段階で事務所スタッフと smt に駆けつけた伊東さん。建築家は何をできるかを問い、仮設住宅での生活を強いられる人たちが集って、街のこれからについて語り合える集会所「みんなの家」を各所に作りました。作る側のエゴではなく誰のために、何のためにあるものかを一緒に考え、その土地でしかできない建築が、これからの建築の指針となっていくのかもしれない。



せんだいメディアテーク南側のガラス壁面はダブル・スキンという二重構造。屋上の開口部の開け閉めで放熱・蓄熱両方の効果を発揮



「みんなの家」第1号として2011年10月福田町の仮設住宅に建築した「宮城野区みんなの家」。現在は新浜地区に移設された

ここでもっと知る!

せんだいメディアテーク
図 仙台市青葉区春日町2-1
☎ 022-713-3171
図 9:00～22:00(施設により異なる)
図 第4木曜(12月を除く)
☑ 入館無料